

「音声ガイド番号」一覧 3

ヒストリーウォーク 1990年代～現在	
78	サイレントピアノの誕生:U5AS(1993年)
79	鍛造チタンを用いたゴルフクラブ:EOS Ti-22(1991年)
80	1990年代概観
81	リアルな音色と豊かな表現力を備えたワークステーション:SY-99(1991年) [チック・コリアによるデモ演奏]
82	楽器の発音構造をシミュレーションして音を作る「ヴァーチャルアコースティック音源」を搭載したシンセサイザー:VL-1(1993年)
83	スピーカーはハンドメイド、NY近代美術館(MoMA)がコレクションに加えた200台限定生産のスピーカーシステム:YST-SD90(1991年)
84	世界中が待ち望んでいたデジタルレコーディングコンソール:02R(1995年)
85	サイレントシリーズの楽器が続々登場(1995年～)
86	20世紀を代表するピアニスト、スヴャトスラフ・リヒテルが最後の来日コンサート(1994年)で演奏したフルコンサートグランドピアノ:CFIIIS
87	「着る」電子楽器:Miburi(ミプリ)(1995年)
89	オリンピックで金メダルを獲得したスキー板:Proto SL(1993年)
90	2000年以降概観～「音・音楽をコアとした経営」の下での新たな挑戦
91	超一流バイオリニストからのアドバイスをもとに完成させたバイオリン:Artida YVN500S(2011年)
92	手軽に本格的なDJ気分が味わえるデジタルDJギア:DJX-IIB(2000年)
93	形はトランペット、だけど歌声で演奏する電子エンタテインメント楽器:EZ-TP(2004年)
94	弓でも弾けるヤマハ生まれのサイレント大正琴:ヴィオリラ SH-30(2001年)
95	ニューヨーク近代美術館(MoMA)のパーマネントコレクションに選定された、新しいコンセプトの電子エンタテインメント楽器:テノリオン(2008年)
96	「インテリアデザインとしての存在感」がテーマの電子ピアノ:MODUS(モーダス)(2007年)
97	形はギター、だけどボタンを押してコードを決める電子エンタテインメント楽器:EZ-EG(2002年)
98	世界初、ワンボディで5.1chを実現したデジタルサウンドプロジェクター:YSP-1(2004年)
99	サクスの音をシンセサイザーで再現するための研究から生まれた管楽器:ヴェノーヴァ YVS-100(2017年)

音響機器展示エリア/バーチャルステージ	
100	ヤマハミキサー開発の歴史:アナログミキサー(1969年～)
101	ライブイベント用大型デジタルミキサーの登場:PM1D(2001年)
102	デジタルシグナルプロセッサー
103	音楽制作機器の変遷
104	ボーカロイドと初音ミク
105	ライブイベント用スピーカーシステム
106	商業空間やオフィス向けのスピーカーシステム
107	レコーディングスタジオ用モニタースピーカー
108	家庭用スピーカーシステム
109	オフィス向け会議システム
110	バーチャルステージ:圧倒的な臨場感で仮想ライブをお楽しみください!



音色サンプル



INNOVATION ROAD 音声ガイドMAP

お持ちのスマートフォン、または、
受付で貸し出しをしているガイド機で
音声による解説をお楽しみいただけます。



ご自分のスマートフォンを使う

1 QRコードを読み取る

「SoundUD企業ミュージアムガイド」の
webアプリを開きます。



2 音声ガイドを再生

各展示に設置されている「音声ガイド番号」を入力し、
「START」を押します。



音声ガイド番号



START

ガイド機を使う

1 電源を入れる

電源ボタンを長押しします。

2 音声ガイドを再生

「音声ガイド番号」が各展示に
設置されています。

ガイド機で「音声ガイド番号」を
入力し、再生ボタンを押します。

※もう一度最初からお聞きになる
場合は、再度「音声ガイド番号」を
入力し、再生ボタンを押します。



音声ガイド番号

再生 / 一時停止

音量を下げる

音量を上げる

電源

画面点灯



「音声ガイド番号」一覧 1

音色サンプル

ロビー	
1	イノベーションロードの概要
2	シロクマの母子について
3	イノベーションロードのロゴ
コンセプトステージ	
4	コンセプトステージ:バイオリン
5	コンセプトステージ:サクソ
6	耳にも目にも心地よいピアノ:Key Between People
楽器展示エリア	
7	ヤマハピアノの最高峰:フルコンサートグランドピアノCFX
8	音楽の都ウィーンを代表するピアノブランド:ベーゼンドルファー
9	アコースティックピアノのアクションを備えたデジタルピアノ:アバングランドN2 & NU1X
10	響板でデジタル音源を響かせるピアノ:トランスアコースティックピアノ
11	アンプや外部エフェクターなしでリバブやコーラスをかけることができるアコースティックギター:トランスアコースティックギター
12	木材改質技術(A・R・E)を採用し、長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現したアコースティックギター
13	カルロス・サンタナとヤマハのストーリー、ヴィンテージギター:SG-175B(1996年) & SG-2000(1976年)
14	ヴィンテージギター:Lシリーズ(1975年)
15	エレクトーンGX-1の開発から生まれた8音ポリフォニックのアナログシンセサイザー:CS-80(1977年)
16	FM音源を採用したデジタルシンセサイザーDXシリーズの最上位機種:DX-1(1983年)
17	楽器の発音構造をシミュレーションして音を作る「ヴァーチャルアコースティック音源」を搭載したシンセサイザー:VP-1(1994年)
18	往年の名器の音色を再現したキーボード:refaceシリーズ(2015年)
19	金管楽器の素材、色と音色について
20	「ヤマハのオト」を体現する吹奏楽団:ヤマハ吹奏楽団
21	本場アメリカにおけるマーチングの祭典:Drum Corps International
ものづくりウォーク	
22	ピアノの構造
23	ピアノ:響板
24	ピアノ:弦とフレーム
25	ピアノ:塗装と研磨一鏡面仕上げ

ものづくりウォーク	
26	ピアノ:整調と整音
27	バイオリンの製作
28	ギターの設計
29	ギターの塗装
30	トランペットの製造方法
31	管体を曲げる方法:バルジ加工
32	自動車の内装部品
デジタルライブラリー	
33	デジタルライブラリーとフラットーン
スーパーサラウンドシアター	
34	108.6chの迫力:スーパーサラウンドシアター



「音声ガイド番号」一覧 2

音色サンプル

イノベーションロードMAP	
35	イノベーションロードマップ:4つの路線でヤマハの歴史を紹介
36	創業者・山葉寅楠とヤマハの創業物語
37	ヤマハ発動機設立
38	エレクトーンの開発と半導体工場の設立:ヤマハを世界的なブランドに導いた決断
39	ヤマハ音楽教室の創設
歴史ウォーク 創業~1970年代まで	
40	創業ときに作られたリードオルガン:当初のブランドは「ヤマハ」だった(1887年)
41	箱根越えのレリーフ:創業者・山葉寅楠の銅像の台座に嵌め込まれていた、ヤマハの創業物語を象徴するイメージ
42	ピアノの製造開始(1900年)
43	ハーモニカなど新規分野を開拓(1910年代)
44	自動演奏ピアノ:空気圧で鍵盤を動かして音楽を奏でるセミオートマチックのピアノ(1912年)
45	山葉文化椅子セット(1935年)
46	航空機の木製プロペラ(1925年)
47	ヤマハが初めて作ったオートバイ:YA-1(1955年)
48	電子オルガン「エレクトーン」の第1号モデル:D-1(1959年)
49	1960年代:オーディオ事業への参入とナチュラルサウンドスピーカーの開発
50	1960年代:軽音楽用楽器の製造を開始
51	1960年代:FRPとスポーツ用品&ホーム用品
52	1960年代:ヤマハ管楽器の誕生
53	1970年代:エレクトーンの普及、そしてGX-1の登場(1975年) [演奏: 柏木玲子]
54	1970年代:ヤマハオーディオの躍進
55	1970年代:プロオーディオ事業への参入
56	1970年代:テニスラケットの開発
57	PASシステムを採用したエレクトーン:E-70(1977年)
58	世界中のドラマーに愛されたドラムセット:YD-9000(1977年)
59	ウィーンフィルの音を救ったウィンナホルン:YHR-801(1978年)
60	ユーザーは世界にわずか数百人、ヤマハがウィーンフィルのために作ったウィンナオーボエ:YOB-804(1982年)

歴史ウォーク 1880年代	
61	1980年代概観~創業100周年と社名変更
62	電子鍵盤楽器の小型化に成功:ポータサウンドの誕生(1980年)
63	ヤマハが作ったホームコンピューター:YIS(ワイズ)(1981年発表、82年発売)
64	世界中で大ヒットしたCDプレーヤー:CD-X1(1983年)
65	バドミントン用具分野への進出:YB50 Image(1980年)
66	打楽器事業への参入とティンパニTP-500(1980年)
67	ゴルフ用品事業への参入(1982年)
68	FM音源を採用した最初期のデジタル鍵盤楽器:GS-1(1981年)
69	15万台の大ヒットを記録したデジタルシンセサイザー:DX-7(1983年)
70	エレクトーンファンを驚嘆させたステージモデル:FX-1(1983年)
71	MIDIを搭載した初期のデジタル楽器群(1980年代)
72	「てのひらに載るスタジオ」と言われたミュージックシーケンサー:QY-10(1990年)
73	デジタルシグナルプロセッサの登場:REV-7(1985年) & SPX-90(1986年)
74	ヤマハデジタルミキサーの歴史はここから始まった:DMP-7(1987年)
75	自宅でコンサートホールの響きを体感できるデジタルサウンドフィールドプロセッサ:DSP-1(1986年)
76	ヤマハ初のビデオディスクプレーヤー:LV-X1(1985年)
77	「第3の楽器」、クラビノーバ:CVP7(1985年) & CLP50(1986年)

